

PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)

担当局	病院局
担当課	経営課
課長名	瀬戸口
施策番号	
I - 1 - (1) - ③	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
	(人件費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの医師・看護師・医療技術員等の人件費を記載しています。

事業概要						
事業名	総合周産期母子医療センターの運営・小児救急センターの運営					
事業概要	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療を24時間体制で提供します。					
コスト	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営費及び医療器械購入費等を記載しています。	人件費	目安の金額	課長 人 係長 人 職員 人
	2,595,395 千円	千円			1,882,211 千円	

【Action】改善			
課題	H25年度の評価結果を受けての課題 総合周産期母子医療センター、小児救急センターともに、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などにより、医療体制(24時間体制)を確保できました。	見直し内容	全国的な医師不足の状況ではありますが、引き続き必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などにより、医療体制(24時間体制)の確保に努めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療の提供のため24時間体制を確保します。 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の提供のため24時間体制を確保します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)の確保・充実	上段:25年度実績 下段:26年度実績 運営体制の確保・充実	27年度目標	27年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。		運営体制の確保・充実		
	小児救急センターの医療体制(1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療体制(24時間体制)の確保・充実	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実		
	市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。		運営体制の確保・充実		

活動計画	【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンターでの周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科連携医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンターでの小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター)	上段:25年度実績 下段:26年度実績 運営体制の確保・充実	27年度目標	27年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	総合周産期母子医療センターにおける周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。		運営体制の確保・充実		
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院)	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実		
	小児救急センターにおける小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。		運営体制の確保・充実		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 27 年度実績評価)

担当局	病院局
担当課	経営課
課長名	瀬戸口
施策番号	
II - 1 - (2) - ①	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
事業費	(人件費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの医師・看護師・医療技術員等の人件費を記載しています。

事業概要						
事業名	総合周産期母子医療センターの運営・小児救急センターの運営					
	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療を24時間体制で提供します。					
コスト	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営費及び医療器械購入費等を記載しています。	人件費	目安の金額	課長 係長 職員
	2,595,395 千円	千円			1,882,211 千円	人 人 人

【Action】改善			
課題	H25年度の評価結果を受けての課題	総合周産期母子医療センター、小児救急センターともに、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などにより、医療体制(24時間体制)を確保できました。	見直し内容
			全国的な医師不足の状況ではありますが、引き続き必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などにより、医療体制(24時間体制)の確保に努めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】	・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療の提供のため24時間体制を確保します。 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の提供のため24時間体制を確保します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)の確保・充実	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実		
	市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。				
	小児救急センターの医療体制(1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療体制(24時間体制)の確保・充実	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実		
	市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。				

活動計画	【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンターでの周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科標榜医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンターでの小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター)	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実		
	総合周産期母子医療センターにおける周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。				
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院)	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実		
	小児救急センターにおける小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。				

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 27 年度実績評価)

担当局	病院局
担当課	経営課
課長名	瀬戸口
施策番号	
II - 1 - (2) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
	(人件費備考) 新病院整備に係る担当職員の人件費を計上しています。この他に担当部長が1名います。

事業概要					
事業名	八幡病院移転改築事業				
	昭和50年代に建設され、老朽化や狭隘化が進み、一部が新耐震基準を満たしていないなど、施設面に課題がある市立八幡病院の移転・建て替えを行います。				
コスト	事業費	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	人件費
		383,821 千円	千円		目安の金額 課長 1.00 人 係長 1.00 人 職員 2.00 人

【Action】改善			
課題	H25年度の評価結果を受けての課題	建物の老朽化や狭隘化が進んでおり、一部が新耐震基準を満たしていない。	見直し内容
			平成26年5月に策定した「新北九州市立八幡病院基本計画」などに基づき、救急・小児・災害医療を充実・強化するため建て替えを行います。

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況		
	市立八幡病院	移転・建て替えを行い、救急・小児・災害医療を充実・強化します。また、地域の基幹病院としての機能をよりいっそう充実強化するとともに、地域の医療機関との連携を強化し、地域医療における拠点機能の役割を担います。	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	救命救急センター・小児救急センター受入れ患者数 現病院は、救命救急センターと小児救急センターで年間1万人前後の救急患者を受け入れているが、処置室などが共用であるため、受入れ不可や十分な処置ができない、小児患者に対する配慮がかけられているなどの課題が生じている。そのため新病院ではそれぞれ専用の処置室を設置し、処置ベッドを増やすことで、受入れ不可の解消や救急患者受け入れ態勢の充実を図る。 (最終目標と目標年度) 受入れ患者数 11,992人 目標年度 平成42年度	10,062人 (H22年度)	単年度目標設定なし		
	患者満足度 現病院は旧医療法の基準で整備され、施設の老朽化、狭隘化が進み、一部が新耐震基準を満たしていないなど施設面の課題がある。新病院では病室や廊下を広く整備するなどハード面の療養環境の充実に加え、分かりやすい案内表示、待ち時間短縮など満足度の高いサービス提供に取り組む。 (最終目標と目標年度) 90%(入院・外来) 目標年度 平成31年度	入院: 63.9% 外来: 76.0%	単年度目標設定なし		

活動計画	どのようにして目的を達成するか 平成26年5月に基本計画を策定し、平成26年10月より基本設計に着手しています。今後は公共事業評価、基本設計の策定を経て、平成27年度により詳細な実施設計及び先行工事に着手することとしています。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	27年度目標	27年度実績 (達成率)
	実施設計の着手 基本設計に引き続き実施設計に着手します。	-	実施設計 着手	
	先行工事の実施 管理部門として利用する予定の九州国際大学文化交流センターの改修工事及び旧尾倉小学校体育館解体工事を実施します。	-	改修工事及び解体工事完了	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点